



発行 社会福祉法人
徳島市身体障害者連合会



新年度を迎えて

理事長 林 徳太郎

令和2年に始まり猛威を振るった新型コロナウイルスによる市民生活への影響もようやく落ち着きを取り戻しつつある中、新年度を迎えました。

まず、前年度については、事業計画に定めたすべての事業を実施できました。昨年7月にはパラスポーツ講習会、11月にはパラスポーツ大会、12月には福祉大会、今年1月には人権問題研修会。しかし、多くの方々に参加を呼びかけたパラスポーツ大会は、コロナ禍の「出不精」から脱け出せていないのか、参加者がコロナ前に比べ非常に少なく残念でした。特筆すべきは、まず令和2年から中止していた四国都市身体障害者連絡会議高知大会が4年振りに晩秋の牧野富太郎

記念博物館で開催されたことです。4都市の会員がお互いに元気を確かめ合い、楽しく交流できました。

もう一つは、昨年9月15日アステイ徳島で開催された第77回全国レクリエーション大会の総合開会式。実行委員会の岡山千賀子会長から招待を頂中、会員多数が参加しました。さて、本年度については、昨年実施した事業を更にブラッシュアップするとともに、参加者への呼びかけを工夫し、賑やかで楽しい催しにしてまいります。

四身連は、今年度は本市での開催となります。当会議設立の趣旨であります会運営上の諸

問題を協議し、情報交換を行うとともに、会員相互の交流を図ることを念頭に企画してまいります。また、昨年度に続き県連合会などの事業に相乗りし、会員の皆様方の更なる社会参加を後押ししてまいりたいと考えています。

昨年度、徳島市では市障害福祉計画等の改訂に当たり、身体障害者にアンケート調査を行っています。その中で、「知っている障害者団体名をお答えください。」の問いに対し、「徳島市身体障害者連合会」に○印を付けた割合は、わずか10%でした。当連合会の存在と活動のPRを如何に怠っていたかを問われる結果となりました。

もう一つ、「平日の日程をどのように過ごしていますか。」の問いに最も多いのが「自宅で過ごしている45%」で、次は「仕事をしている13%」でした。人生100年時代。健康で長生きするには「栄養をとる、身体を動かす、人と交わる」だそうです。

自宅に籠もっている人を誘い出し、共に会活動に参加していただくことも、当連合会の役目ではないかと思えます。

結びに、本年度も役員、事務局員一同頑張っておりますので、引き続き当連合会の活動にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

福祉大会に参加して

野尻 許子

昨年12月3日に、ふれあい健康館で開催された身体障害者連合会の福祉大会に参加しました。私はその席上で、内藤市長から表彰状を授与されました。連合会には、これといった貢献もしておらず、恐縮するばかりです。

私は、難病の網膜色素変性症のため、中途視覚障害者になりました。日毎に、不自由さが増し、将来の失明の不安にとりつかれるようになりました。

ある時、この病気の患者会があることを知り、病気の正しい知識や日々不便になる生活への対処法などを知ることができました。

そこで、県内にいるこの病気で視覚障害者になった人達と交流できる場所を作ろうと、日本網膜色素変性症協会徳島支部を立ち上げました。支部は、現在、「徳島県網膜色素変性症協会」となり、今年、設立20周年を迎えます。患者、医療関係者、支援者の三者で構成する会は、QOLの向上と一日でも早い治療法の確立を目指して活動をしています。

これまでの20年間で、この病気で視覚障害者になった人達に、一人ではなく仲間がいること、お互いに元気を与え合い前向きに生きていけること、福祉制度や便利グッズ・障害年金などの情報提供、医療機関及び行政・福祉機関との連携、社会への啓発活動を通じて、視覚障害者の生活の向上に僅かでも寄与できたのではないかと考えています。



各单位団体の活動状況

肢体障害者会

会計 八幡 恵

本会は、市内に在住する肢体に障害のある人々の自立と社会経済活動への参加を目的に活動しています。市内には、約4千200人の会員がおります。新型コロナウイルスによる市民生活への影響もようやく落ち着きを取り戻しつつありますので、本会の活動も本来の姿に戻さなければなりません。本会の活動について報告します。

1 令和5年度の事業報告

一、理事会及び評議委員会

令和5年6月11日(日)に、市生涯福祉センターで開催されました。令和4年度の事業報告・決算及び令和5年度の事業計画・予算が提案され、それぞれ原案どおり可決されました。

次に、役員の改選が行われましたが、理事・監事とも再任となりました。なお、評議員は、地区会からの選出者です。

二、新春今年も元気で会

今年2月3日(土)に、県立総合福祉センターで開催されました。昨年は29名の参加者が何と39名。おしゃべりタイムでは、自慢のハーモニカ演奏やカラオケでワイワイ。アトラクションは、徳島文理大学OBの上村昌司氏の手品に参加者目を白黒。最後は恒例のビンゴゲーム。ハラハラドキドキしながら皆さん幸運の数字が飛び出てくるのを祈っていました。

手品の様子



2 令和6年度の事業

今年度は、コロナ禍などで休んでいました「四肢の日記念福祉大会」が、4月23日(火)県立障がい者プラザで開催されます。

また、「四国都市身体障害者連絡会議」は、徳島市が当番です。会員の皆様、アフターコロナの時代を大いに楽しみませんか。

視覚障害者会

会長 北川 和彦

本会は、市内に在住する視覚障害者の福祉の充実と社会的地位の向上を図り、会員の相互の友好と親睦を目的として結成されました。

1 令和5年活動報告

1 定期総会を4月16日にふれあい健康館で開催し、前年度の事業報告、一般会計報告、監査報告。また、今年度の事業計画(案)・一般会計予算(案)について承認を得ました。

2 役員会をふれあい健康館で4回開催し、事業の計画執行及び当面する諸問題について協議しました。

3 第54回「目の記念福祉大会」を10月15日にふれあい健康館で開催しました。

1部の式典では、5名の方に感謝状と記念品を贈呈しました。2部では、「心のバリアフリー」と題して、人権啓発推進員の久保修氏からご自身の障害と併せて活動などを講演していただきました。

4 12月10日には、「交流会」として、私たちがお世話になっていた方のカラオケ店で、カラオケ大会を行い楽しい時間を過ごしました。

5 社会見学研修会を本年1月28日に行いました。高知の日曜市で露天での買い物を楽しみました。また、カツオのたたきのワラ焼き体験もしました。

2 部会の育成、スポーツクラブの支援

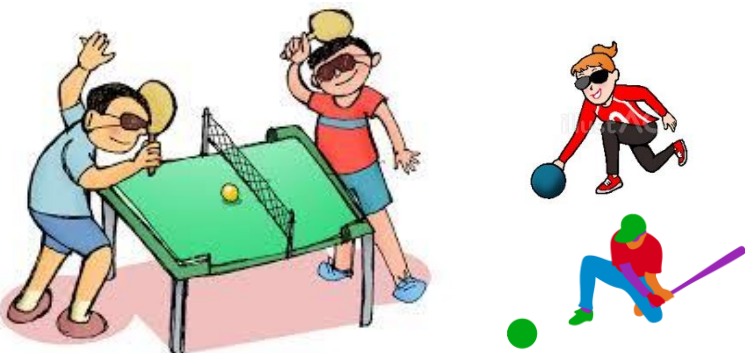
1 かがやき部は、ボーリング大会を末広ボウルで、さつき部は、茶話会を徳島県立障がい者交流プラザで行い親睦をはかりました。

2 サウンドテーブルテニススクラブは、ふれあい健康館にて日曜日に練習し、グラウンドソフトボールクラブは、県立徳

島視覚支援学校グラウンドにて日曜日に練習を行い、様々な大会に参加しました。

3 身体障害者連合会主催の行事 徳島市パラポーツ講習会、徳島市パラポーツ大会、福祉大会等に参加しました。

今年度の活動は、コロナに負けず充実した活動を行いたいと思えます。参加者が増えるように行事を開催したいと思います。



聴覚障害者会

会長 港 博義

本会は、市内に在住する聴覚障害者のための社会的地位向上と、情報保障・福祉増進を図り、また会員相互の友好を目的として結成し、名称を「徳島市聴覚障害者会」としています。

令和5年度活動報告

① 定期総会

(令和4年度決算事業報告) 県立障がい者交流プラザで、問題なくスムーズに終わることが出来ました。

② 毎年人気のある春のボート大会と秋のパークゴルフ大会では、身体を動かすことが好きな人が沢山参加しました。

③ 女性部の企画のひとつとして、料理教室を毎年行っていました。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年も中止させていただきました。代わりに淡路島まで足をのびし牛乳絞り、バター作りの体験の企画を立てたら「こらやってしぼるんやな」「楽しいね」と大好評でした。

④ 寒い冬はみんなでお風呂に入って体を温めようという企画を立てました。あらたえの湯(田宮)で入浴して美味し

い食事をいただきながら楽しい時間を過ごしました。「ゆっくりのお風呂は気持ちがいいね」嬉しそうな顔を見てこの企画は今年も続けたいと思いました。

本会への助成金が大幅に減額となり、年に6回の企画も4回になりました。

今年はずつ年です。干支の中で辰(龍)だけが架空の動物です。他の干支は実在のものになぜ龍だけが架空の動物なのか? 不思議ですよ。これについては、はっきりとした理由がわかりません。そういえば、ろうの漢字は「聾」、辰=龍と耳。なんか不思議な縁を感じられずにはいられません。

今年も目標達(辰)成に向けて、私達も昇り龍のようにより豊かな生活、活動に向けて、運気をどんどんあげていきましょう。健康第一で皆さんと一緒にいい一年を過ごせるよう、全力を尽くしますので宜しくお願い申し上げます。



トクシ

【地区会だより】 国府地区

国府地区 会長 雄 明
Tel 088-642-4864

国府地区会は、年1回の総会で近隣ホテルや温泉施設での会食など積極的に活動を行ってきて、これまで多数の参加者がありました。しかし、ここ数年コロナ禍で行事が中止となりました。

コロナも5類に移行され、昨年12月に食事会の開催を事務局からしていただいたのですが、連絡がとれた5名はいずれも不参加でした。不参加の理由については、コロナの影響に加え、会員の高齢化と施設・病院に入院ということでした。

今後については、国府地区会の維持のためにも各ボランティア団体に会員の紹介をお願いしているところです。また、「国府コミセンだより」でも募集をし、少しでも多くの方に入会をしていただき、以前のように館外での総会や食事会、交流会等を開催し、活発に活動していきたいと思っています。

栄誉を讃えます



徳島県身体障害者福祉大会

理事長表彰

熊井 勇

岡山 千賀子

(令和5年12月9日)

徳島県社会福祉大会

会長表彰

板東 恵美

栗原 正明

清原 健司

(令和5年11月16日)

徳島市身体障害者福祉大会

理事長・名誉会長表彰

吉川 昌文

野尻 許子

助田 カヨ子

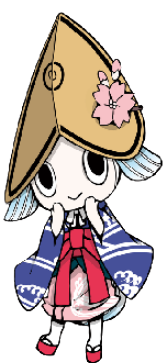
(令和5年12月3日)

徳島市社会福祉大会

会長表彰

三木 清美

(令和6年2月9日)



県身体障害者福祉大会

理事長表彰を受賞して

熊井 勇

私は、12月9日に徳島県身体障害者連合会理事長表彰をいただきました。

盲学校を卒業して、徳島県視覚障害者連合会の青年部に入り、現在は徳島市視覚障害者会へとずっと会に属しています。

そのおかげで沢山の方々と交流させていただきました。また、行事などを通じていろいろな体験や学びができました。このような会を作り育てていただいた先輩の方々に感謝いたします。

今は、役員の一人として会の運営に携わっていますが、力不足で十分働きが出来ていないのかどうかと考えています。このような私に賞をいただき感謝しています。

これからも微力ながら貢献したいと思いますので、御指導ご鞭撻を頂きますようお願いいたします。



徳島市。パラスポーツ

講習会に参加して

新田 勝之

数年前に脳出血で手術。左半身・手足の麻痺になりました。利き手・利き足を失い、家に引きこもっていた時、パラスポーツの講習会のはがきが届き参加しました。

車いすでの参加に不安がありました。みんなが楽しそうにしていたので、すぐになじみ輪に入ることができました。フライングディスクは、車いすでも投げやすい方法を教えてくれました。他の競技も、経験者の方が、やり方・楽しさを教えてくれました。終わりには、笑顔で参加している自分がいきました。

障害を負ってから、停滞していた自分が前に進んでいると思えました。これからは、自分ができる行事があれば参加し、視野を広げようと思います。



徳島市。パラスポーツ

大会に参加して

熊井 ちづ代

私は、視覚障害者です。以前は運動会と言われていたのが、名称がパラスポーツに代わり、新しい競技が取り入れられて良かったです。

私は、ペタンクに参加しました。中央に玉が入った時には、前方から拍手が聞こえてきて嬉しかったです。主人は別の競技に参加し2位の景品を頂き、それがすだちくんのぬいぐるみでした。バックに取り付け、可愛がっています。

4年ぶりの参加でしたが、コロナ、インフルエンザの関係で参加者が少ないなあと思いましたが、楽しいひと時でした。次回も参加したいと思えます。全員の人が参加しやすい競技が増えればよいと思えます。

お世話してくださった、連合会事務局、並びに多くのボランティアの皆様に感謝申し上げます。



選手宣誓

四国都市身体障害者

連絡会議に参加して

山田 美重子

昨年11月14日早朝に徳島市役所新蔵分庁舎から、19名で高知に向い出発しました。朝は少し冷えていて久しぶりの遠出であったので少し不安に思いながらバスに乗り込みました。が、同行の皆さまがとても明るく和やかで楽しく、朝の不安はいつの間にか消え、気が付いたら集合場所の「牧野植物園」に着いていました。

穏やかな秋晴れで、旅には最高のお天気でした。平日にも関わらず驚くほど多くの方が訪れていました。牧野博士をモデルにした連続テレビ小説が放映されていたからでしょう。改めてテレビの影響力の大きさを感しました。

コロナの為、数年ぶりの交流という事で県外の方々とお会いし、数人の方は懐かしそうに談笑されていたのが印象深く、これがこの交流会ならではの感じました。

ガイドブックによると、牧野博士は幼少から植物に興味を持ち、独学で植物の知識を身につけられ、植物分類学の研究に打ち込むようになったそうです。生涯で収集した押し葉標本

は40万枚を超え、およそ1500の新種・新品種を命名されたそうです。ビックリ仰天です。

博士は「私は植物の愛人としてこの世に生まれて来たように感じます。あるいは草木の精神かも知れんと自分で自分を疑います。ハハハ!!」と言っておられたそうです。

仏陀の教えの中に動物、植物、鉱物など、万象万物に魂が宿っているとありました。特に植物はそうとう精妙な魂があるとのことです。牧野博士はこの世に生まれてくる前に植物の精から、植物に名前を付けてくれるようにお願いされたのかも」と私は思ってしまった。

末筆になりましたが、車椅子を押してくださった方や、この交流会の実行の為に御尽力下さった皆様に心より感謝申し上げます。



寄附ーただ感謝

昨年12月27日、徳島電気工事協同組合理事長 山花英司様からあゆみ園に、現金10万円のご寄附を頂きました。令和3年12月27日にもご寄附して頂き今回で2度目になります。誠に、ありがとうございます。



当日は、山花理事長様のほかに、長谷川副理事長様、余保副理事長様及び森本事務局長様が来園されました。このお金はゴルフコンペで集まったもので、障害者福祉のためにお使いくださいとの言葉をいただきました。

園側からは、林理事長、山口所長が対応。徳島市内には、約1万人の身体障害者がおられます。お言葉のとおり障害者の福祉向上のために使わせていただきますと謝辞を述べました。

全国レクリエーション大会に参加して

仁志 幸子

昨年9月15日、48年ぶりに全国レクリエーション大会(第77回)がアステイトくしまで開催されました。

全国から多くの皆様が来県され、また私達もご招待をいただきました。岡山千賀子実行委員会会長のごあいさつや県知事、徳島市長の歓迎のことばかり、この大会が長い歴史を重ねてきたことを知りました。

レクリエーション活動の趣旨は、人々に豊かな生活の形成と健康づくりを促し、人と人との温かなつながりを通して心を元気にすることにあります。



本県では、スポーツを通じた豊かな社会づくりを進めるとともに、性別、年齢、障害の有無に関わらず、「誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションに親しめる」機会や環境づくりを推進しているとのことでした。

また、本県には藍染、阿波踊り、人形浄瑠璃などの伝統文化や豊かな自然、新鮮な海の幸、山の幸などがあり、豊かな街で暮らしていることも改めて知りました。当たり前の日々の生活から、もっと自然や豊かな文化に、一歩前に出て行動して触れてみたい、これらのこともこの大会で学びました。

今年初めて、障害者が楽しんで出来るポッチャやフライングディスクなどに挑戦し、なか

なか的に届かないなど苦労しましたが、練習次第と、あきらめないで次回のスポーツ大会にはパーフェクトまでに近づきたいとの思いも強くしてくれました。

アトラクションとして、妖精のような可愛い子供たちが色鮮やかな衣装をまとい、曲に合わせてローラースケートでのおどりにくぎ付け。その後「娯茶平」のプロの踊りに来県されていたお客様も大変喜ばれ、ご満足された様子であり、私自身も真近で見た阿波おどりは圧巻でした。

文化、歴史、自然の豊かさを再認識できた大会に参加できたことに感謝しています。



皆がマスクをしているので、よけいに誰かが分かりにくい。声を掛けようか、間違えていたらと思いつきながら、思い切って声をかけています。間違えていないかと良かったとほっとするこの頃です。

ちゅ

現在、世界も、日本も様々な出来事が起きている。ところで自分は今、何事もなく生かされている。有難いことだ。神に感謝をささげながら今後の無事を祈るばかりです。

エミリー

毎年NPO主催で開かれるライブコンサート(江崎ワイルドカンプニー)3月10日、アステイトくしまで生演奏の迫力を楽しんできました。免疫アップになった気がします。

ミッキー

昨今の政治家の不祥事の多さに、国民の一人として嘆いています。明治維新の頃のような自分の事より国を思う坂本龍馬のような人は、今の日本にはいないのでしょうか？

スノーピー

古希を過ぎた妹からソックスをプレゼントされた。サイズを見ると26と28cm。私は25.5cm。大は小を兼ねると思いついて履いているが、やはりブカブカ。幾つになっても兄は大きいのだ。

三楽亭



人権問題研修会

今年1月7日(日)に、身体障害者相談員研修会を兼ねて、人権問題研修会を開催し、連合会の役員、地区会長、相談員、事務局職員等を合わせて26名が参加しました。

研修会では、あいばーと徳島(徳島県立人権教育啓発推進センター)の高橋利弘氏を講師に招聘し、「明るく楽しくためになるく徳島の寺子屋考」というテーマで講演をしていただきました。

高橋講師には、寺子屋の起源、私塾と寺子屋の違い、貧富・性別を問わない教育等について、分かりやすく解説していただきました。

多様化・複雑化する人権問題に対応するため、今後も継続して研修会を開催し、人権意識を高める取組を行っていきます。



令和5年度実施行事

新型コロナウイルスの感染対策を徹底して実施しました。主な行事は次のとおりです。

◆パラスポーツ講習会

7月23日(日)
障がい者交流プラザ

◆パラスポーツ大会

11月5日(日)
トモニアリーナ

◆市身連福祉大会

12月3日(日)
ふれあい健康館

◆人権問題等研修会

1月7日(日)
総合福祉センター

令和6年度行事予定

◆パラスポーツ講習会

7月21日(日)
障がい者交流プラザ

◆四国都市身障者連絡会議

10月18日(金)
プラザ・文化の森

◆パラスポーツ大会

11月4日(月)
トモニアリーナ

◆人権問題等研修会

12月8日(日)
総合福祉センター

◆市身連福祉大会

2月9日(日)
ふれあい健康館

あゆみ園だより

園長 島谷 淑子

一年があつという間に過ぎる年令になりました。令和5年は私事ではありますが、私の不注意で足をすべらせ、左大腿骨を折ってしまいました。足を悪くしてはじめて杖、手摺りの大切さ、有難さが良く解りました。あゆみ園では8月にコロナに感染する人が多数(職員4名、利用者6名)出ました。8月24・25日を休業とし、土日はさんで4日間お休みにするとピタッと感染が止まりました。隔離が大切な事が証明され、これを経験に感染症対策の良し勉強になりました。令和6年の元旦には、能登地震がありました。北陸の人達は大変だった事でしょう。この後はおだやかな一年になる様祈ります。

あゆみ園を利用された方はいつでもご連絡下さい。

家外に出て違った体験をしてみるのも、気分が変わってとても良いと思います。



あゆみ杯に参加して

田村 好子

昨年、早期の認知症改善の薬が認可されたとのニュースが話題となりました。

頭脳の活性化を図るスポーツとして本大会は、平成20年に第一回あゆみ杯(囲碁・将棋・連珠・オセロ)が始まりました。しかし、令和元年に第13回大会を最後に、コロナ禍の影響を受け休止となっていました。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、3年ぶりに8月20日にあゆみ園本館で22名余りの参加者を得て開催できました。新型コロナウイルス対策に留意しながら、種別に1階、2階、3階に分かれ競い合いました。

種目別の第1位の皆様方は、

囲碁A…林徳太郎氏、将棋A…金丸守氏、連珠A…林昌子氏、オセロA…長江知里氏、B…吉岡美代子氏でした。



福祉展のお茶席にて

事務主任 三木 清美

今年2月10日に第42回徳島市障害者福祉展がふれあい健康館で開催されました。毎回あゆみ園は、物品販売とお茶席で参加しています。

私は、市身連に入職した時から、お茶席の手伝いをしてきました。その内容は、裏でひたすからお茶を点てることです。

10回以上経験してきましたが、今回、初めて電源のトラブルに見舞われました。お茶を点てるのに絶対必要なお湯が沸かない。一瞬間が真っ白になり焦りました。どうやら電気ポットを3台同時に電源に差すとブレーカーが落ちるらしく、係の皆様が懸命に対応して頂き、なんとかお茶を点てることができました。

茶道クラブの板東先生と毎回お手伝いしてくださる妹さんと私、そして時々地活にいらつ

しやる木川さんと4人で今回なんとか乗り切りました。大変大勢の方にお茶を飲みに来ていただきました。子供連れの家族の方は「子供には抹茶はいらない」と言われる親御さんも多かったのですが、子供用に薄くして点てたら、おいしいと飲んでくれたので嬉しかったです。

徳島市身体障害者連合会

〒770-0855 徳島市新蔵町1丁目88番地
TEL 623-3065 / FAX 624-5387
HP <http://tokushishinren.main.jp/>
E-Mail tokusisinsyoren@vesta.ocn.ne.jp

徳島スローワークセンター あゆみ園

〒770-0941 徳島市万代町6丁目41-20
TEL 625-9155 / FAX 625-9156
http://tokushishinren.main.jp/ayumi_annai.pdf
E-Mail ayumien@theia.ocn.ne.jp

